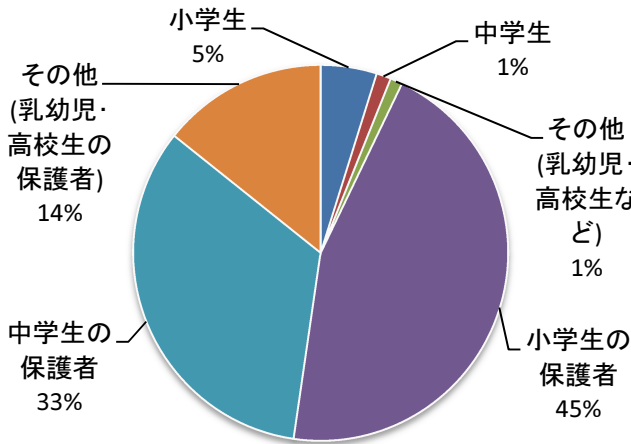
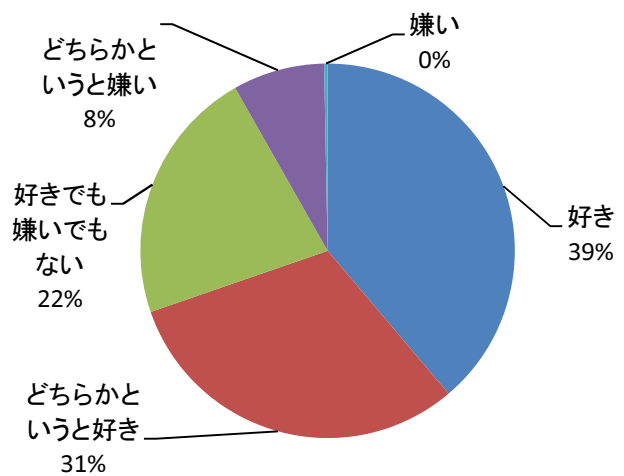


平成28年度 読書活動に関するアンケート結果 越智郡・松山市・大洲市

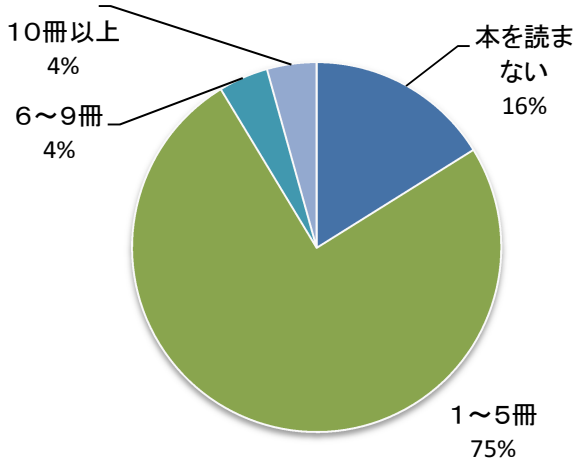
設問1 あなたは次のどれにあてはまりますか



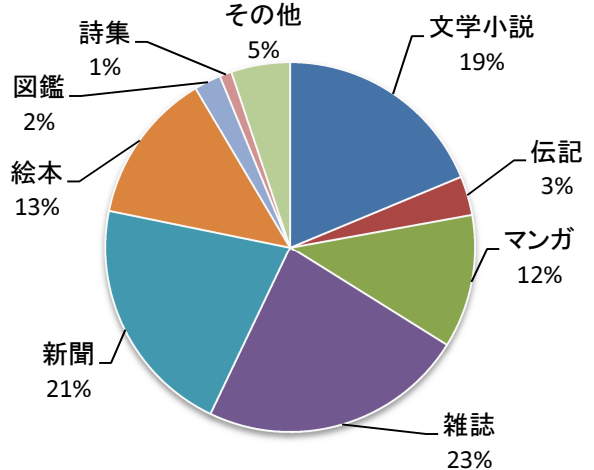
設問2 本を読むことが好きですか



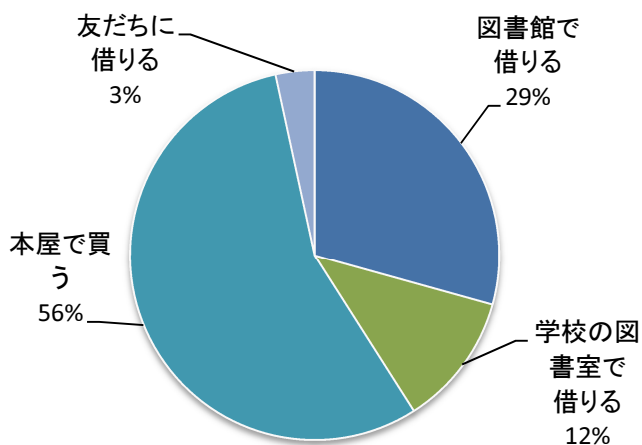
設問3 1か月に読む本の数は何冊ですか。



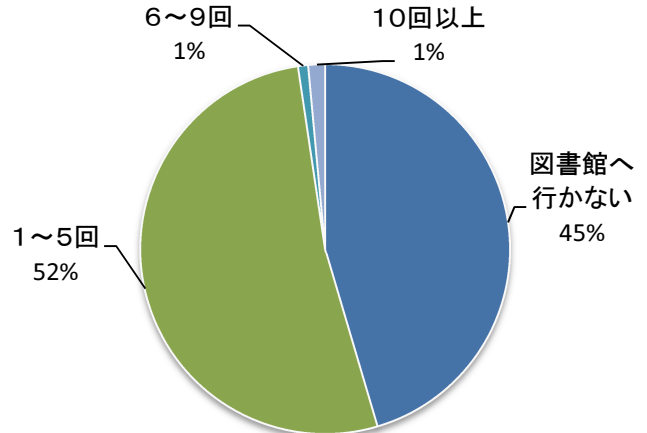
設問4 どのような本をよく読みますか



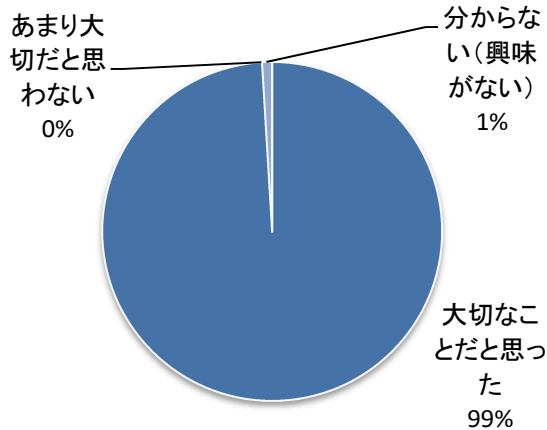
設問5 どのように本を手に入れていますか



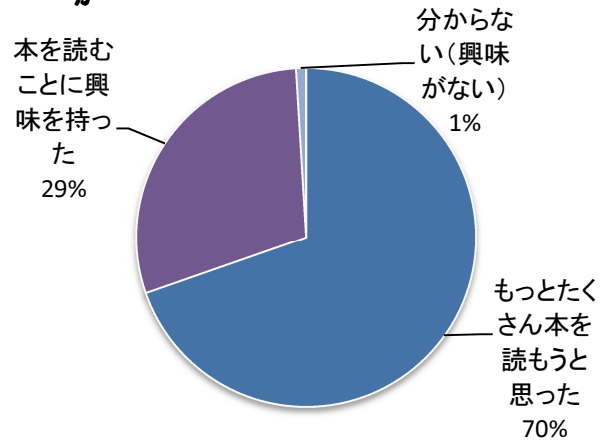
設問6 1か月に図書館を何回利用しますか



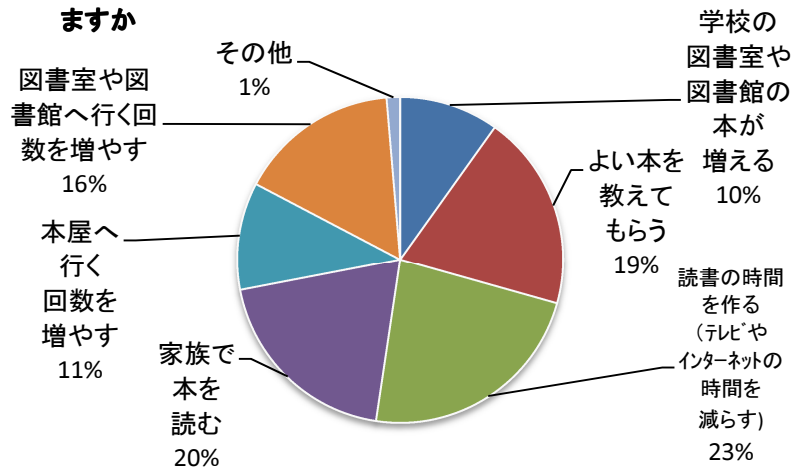
**設問7 本を読むことについて、どのように
思いましたか**



設問8 もっとたくさん本を読もうと思いましたか



設問9 どのようにしたら今までよりたくさん本を読むと思いますか



今年度の子どもの読書活動推進事業は、越智郡、松山市、大洲市の3郡市において開催されました。参加者に対してアンケートを実施したところ、343名からの回答をいただくことができ、その集計結果をもとに分析を行いました。

今年度と昨年度の集計結果を比較してみると、ほぼ同様の傾向が見られました。しかし、以下の設問については、今年度の取り組まれた3郡市の特色が見られます。まず、設問5の本の入手方法については、「本屋で買う」、そして、設問6の図書館の利用回数については、「図書館へ行かない」の割合が昨年度よりも高くなっています。設問6の記述欄の回答を見ると、「時間がない」「場所が遠い」などが挙げられていて、回答者の読書スタイル(最新の情報を大手書店等で購入して読む)や生活スタイル、居住地等が要因と推測されます。

次に、設問7と設問8の本事業後の読書に対する考えについては、肯定的な回答がほぼ100%と、事業の目的が達成されていると考えています。

最後に、設問9の読書量増加の方法案からは、「自分のペースで、自由がきく時間に、自分の家で読むスタイル」、いわゆる、「家読」のスタイルの意識が広まっていると推測されます。

今年度、子どもの読書活動推進事業に取り組まれた3郡市には、成果と課題を生かして、来年度も読書活動を継続して実施し、さらに読書の輪が広がるように努めていただきたいと思います。